

ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク（略称：VVN）活動報告

月日： 9月25日（木）・28（日）

活動内容： 国際ユースサッカー大会・仙台カップ2003

参加人数： VVN及びボランティア延べ11名

活動報告

ベガルタ仙台の2001年のJ1昇格、2002年のワールドカップの開催と仙台市がイタリアのキャンプ地となったことから、おおきな歯車が動き始めた。ひとつにはベガルタが育成普及に従来よりも力をいれはじめたことであり、サッカーを取り巻く底辺が確実に拡大していること、そして、私たちの住むまちで、多くのハイレベルなサッカーイベントがされるようになったことである。

ワールドカップ1周年の日韓代表OB戦、国際女子サッカー大会、セリエAのキエーボとベガルタとの交流試合、そしてU-18の国際ユースサッカー大会「仙台カップ」である。9月25日に開幕し参加4チーム（日本代表・ブラジル代表・イタリア代表・東北代表）が総当りで、27日・28日に分かれて6試合が行われた。この大会は仙台市のスポーツ元気プランの中で「みる」スポーツの振興を目的とし、子どもたちにみてもらうことをテーマとし、更に世界のサッカー選手の登竜門として、全世界のユース年代の選手の目標となることをめざしている。

どうせめざすのなら、思い切って世界有数のものをめざす心意気は評価できる。結果はブラジルの優勝で幕を下ろし、運営のボランティア組織の体制、観客の動員力、4日間で6ゲームというピッチにとっての過酷な条件などが今後の課題となった。しかし、市の意図したように次年度のバトンタッチは既にできたようである。



仙台カップ 2003